

四国発信！ダイバーシティ研究環境調和推進 プロジェクトシンポジウム 2020 リーダー育成セミナー及びキャリア形成支援セミナー

- 1)調査目的 本調査は、シンポジウム 2020 において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 シンポジウム 2020 参加者全員
- 3)調査方法 シンポジウム 2020 終了後、メールにて Web アンケートへの回答を依頼
- 4)調査期間 2020 年 9 月 18 日（金）～10 月 2 日（金）

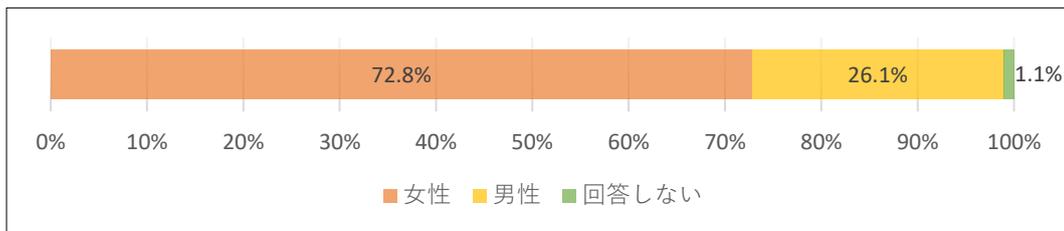
■ アンケート集計結果

回答数 対象者 162 名、回答者 92 名
回答率 56.8%

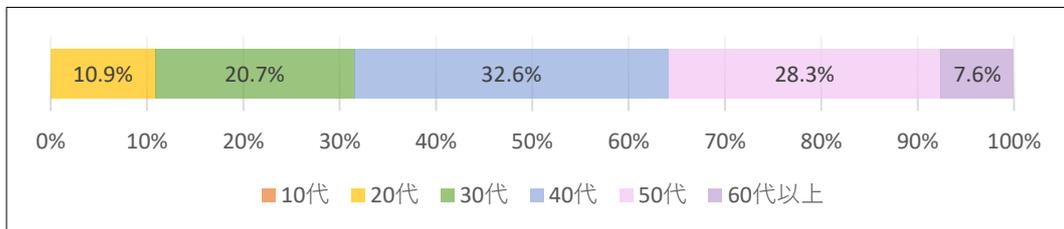
■ アンケート調査結果

問. 回答者の属性

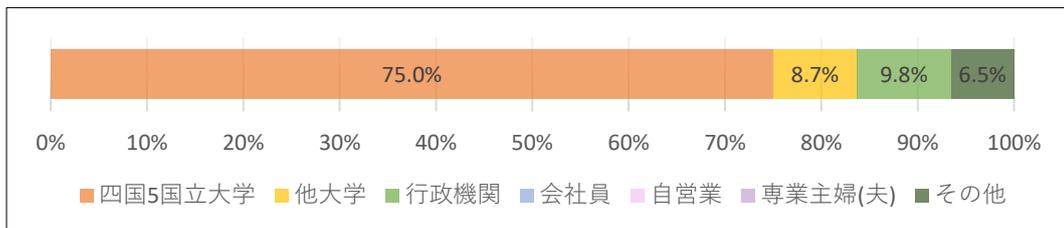
◆ 性別



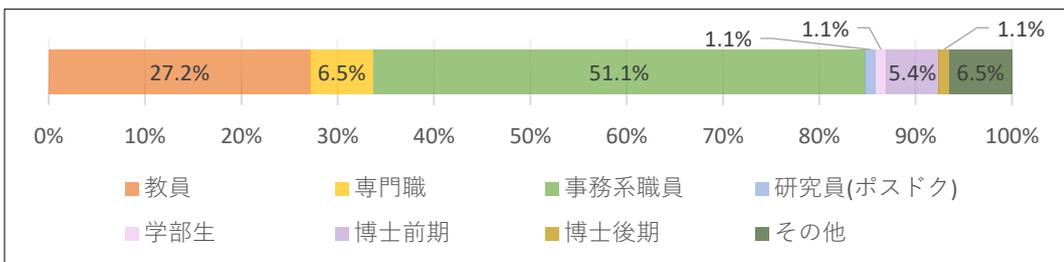
◆ 年齢



◆ 所属

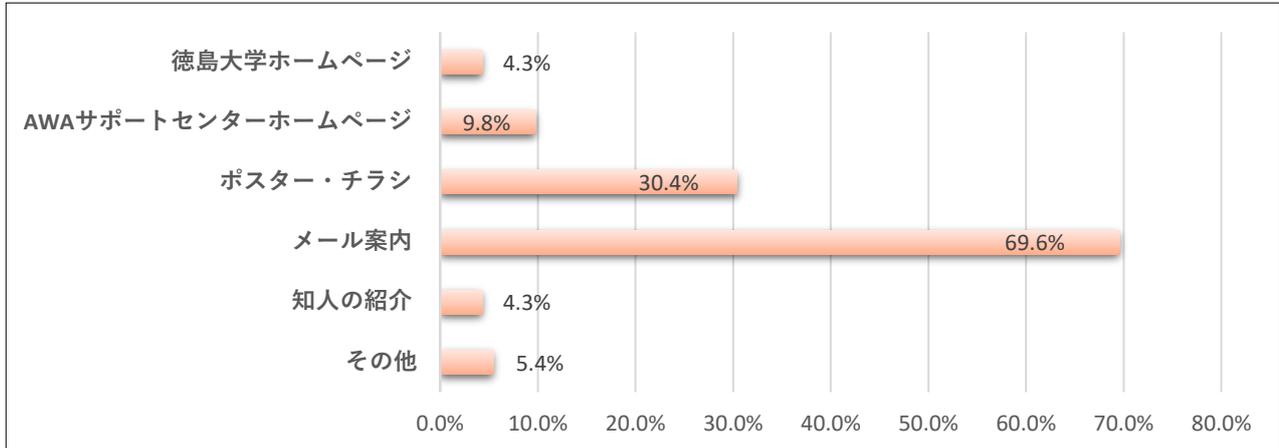


◆ 職種



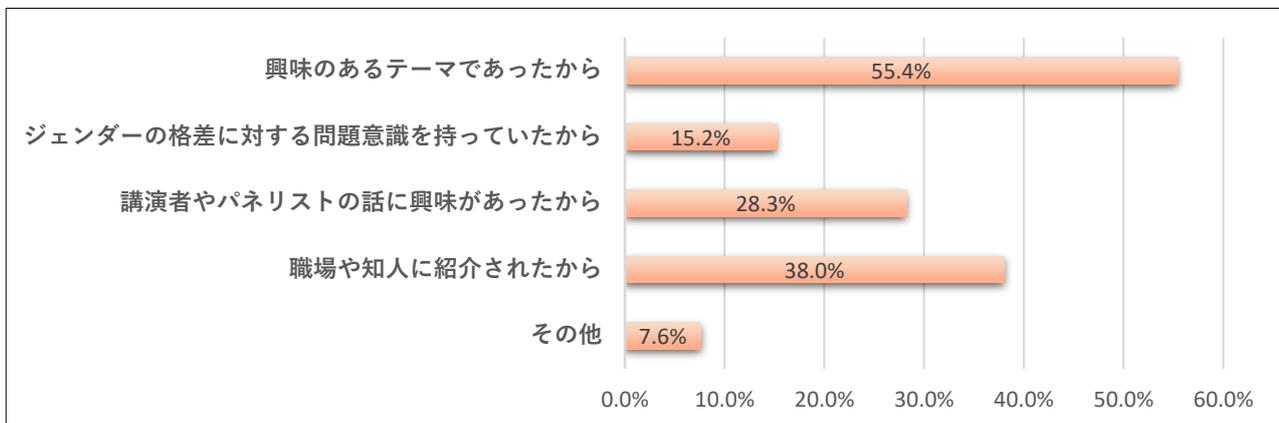
回答者の性別では、女性が72.8%で男性が26.1%であった。
年齢は20代~30代が31.5%で、40代以上が68.5%であった。
所属は、四国5国立大学が75.0%で、他機関等の学外からは25.0%であった。
職種は、事務系職員が51.1%と最も多く、次いで教員が27.2%であった。

問. 本シンポジウムを知ったきっかけをお聞かせください。(複数回答可)



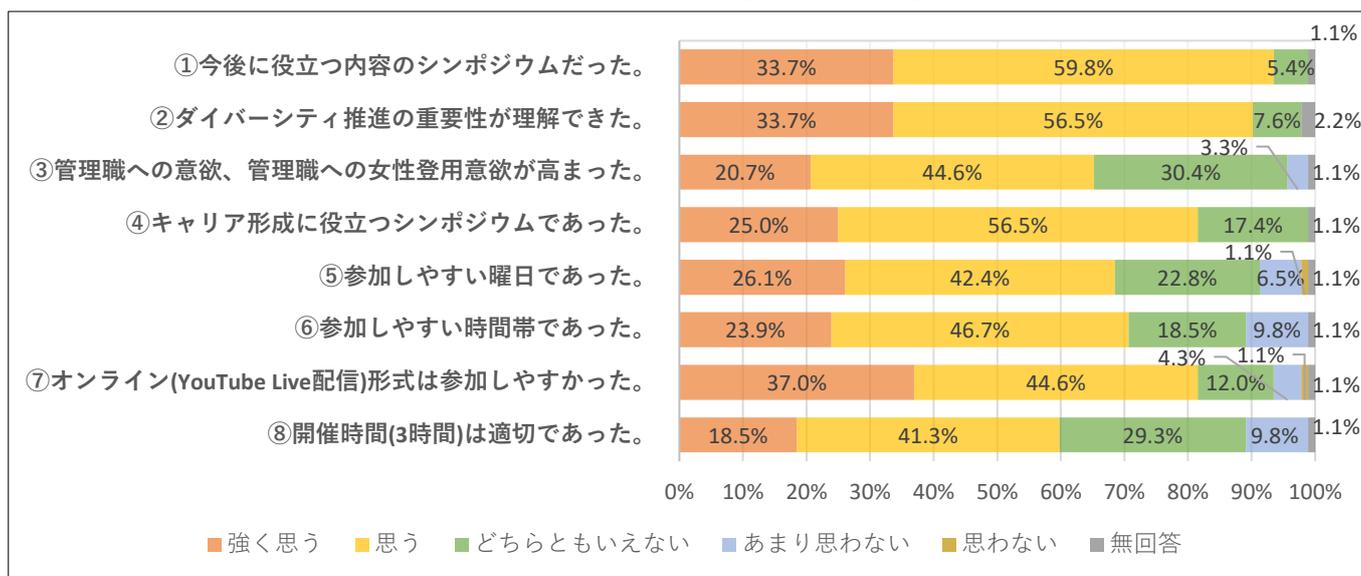
開催の広報効果については、『メール案内』が69.6%と最も高く、次いで『ポスター・チラシ』が30.4%、『AWAサポートセンターホームページ』は9.8%であった。

問. シンポジウムに参加された理由をお聞かせください。(複数回答可)



シンポジウム参加理由については、『興味のあるテーマであったから』が55.4%と最も高く、次いで『職場や知人に紹介されたから』が38.0%、『講演者やパネリストの話に興味があったから』は28.3%であった。

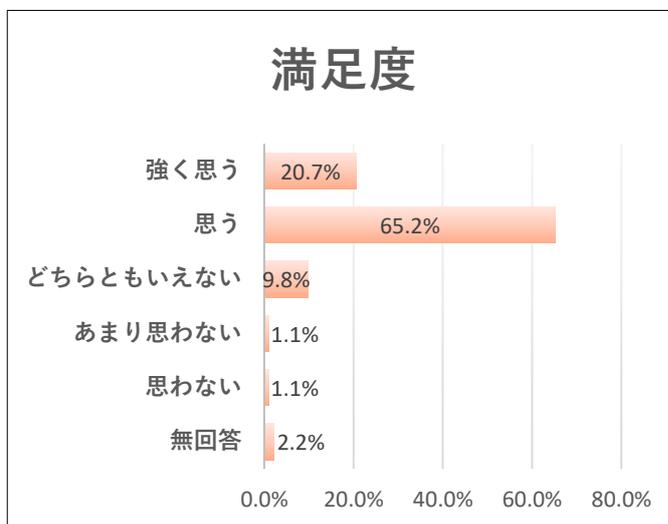
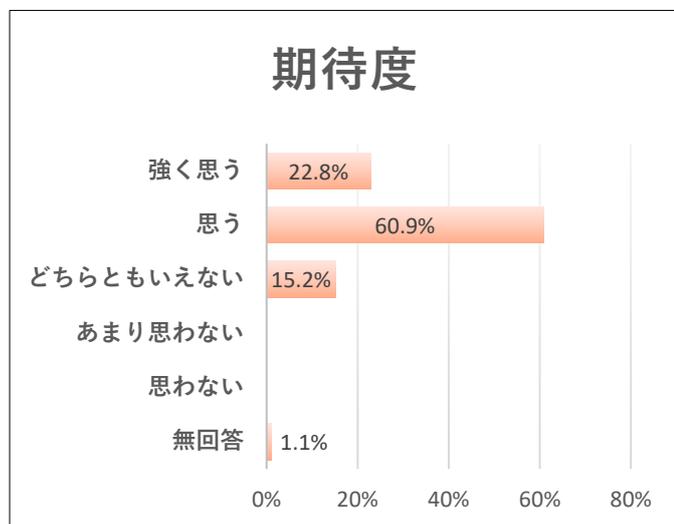
問. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。



『今後に役立つ内容のシンポジウムだった』に対して、93.5%が『強く思う』『思う』と回答し、また、『ダイバーシティ推進の重要性が理解できた』に対して、90.2%が『強く思う』『思う』と回答しており、開催意義が大きいことがわかった。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『曜日』『時間帯』『開催時間』はそれぞれ、68.5%、70.6%、59.8%と、過半数以上が『強く思う』『思う』と回答している。また、『オンライン (YouTubeLive 配信) 形式』は81.6%が『強く思う』『思う』と回答しており、オンラインは参加しやすい開催形式であったと考えられる。

・本シンポジウムに期待していた

・本シンポジウムは期待通りであった



期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、83.7%が『強く思う』『思う』と回答しており、満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、85.9%が『強く思う』『思う』と回答している。また、期待度の平均値は4.0点、満足度も4.0点であり、期待度、満足度ともに高かった。